



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY MAKING A DIFFERENCE

2017~2018年度RIテーマ

例会場：ホテル プエナビスタ／例会時間：第1・2 火曜日 19:00~20:00, 第3・4・5 火曜日 12:30~13:30

～奉仕してこそロータリアン
子どもの貧困を理解し、
我がクラブの存続も見通す～

点 鐘 19:00 宮坂会長
司 会 S.A.A・プログラム 柴田クラブ管理委員長
斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト紹介 宮坂会長

米山記念奨学生 李 穎輝 君

李 穎輝様へ
米山記念奨学金授与
宮坂会長



あと数年で若年労働者は激減し、消防・警察・自衛隊も今の人員を確保出来なくなる。火事が起きても消火活動は遅れ、犯罪が起きてもほったらかし、震災が起きても人海戦術の救助活動は困難。筆者はこれを「静かなる有事」と名付けました。

また「少子高齢化」という馴染の言葉を全面否定しています。少子化と高齢化は別問題。高齢化はもう対処が出来ない。確かにそうです。解消するなら娼捨山の話になります。

国家は少子化対策に全面的に力を注ぎ、少なくともそのペースを遅らせるべきだと訴えます。第3子を生んだ夫婦には1000万円を支給せよと提案しています。少子化対策が功を奏しても、数十年間人口の激減は続きます。そのために日本という社会を作り替えること。一言で言えば「ダウンサイジングした社会」に一刻も早く作り替えることだと、書いています。

私はこの本を読んでいる数日間、あまりの深刻さに読むのを止めようかと悩み続けました。怖くなるくらいの内容ですが、皆さんにもぜひ読んで頂きたい本です。

9 お祝い報告 西川 会員増強組織委員
[会員誕生祝] 上條会員



[皆出席表彰] 22年 藤田会員 11年 櫻井会員
5年 西牧会員 1年 中島会員

幹事報告 中島幹事

①次年度中信第一Gガバナー補佐候補者決定のお知らせ。

小穴ガバナー補佐より、8月20日に開催された、次年度中信第一Gガバナー補佐候補者推薦委員会において、次年度ガバナー補佐候補者として、当クラブ 塚本建三会員の推薦を委員会の満場一致で決定し、第2600地区事務所へ報告したとのお知らせが参りました。

②本日例会終了後、定例理事会開催。

会長あいさつ 宮坂会長

先月、この本を読みました。タイトルは「未来の年表 人口減少日本でこれから起こること」。今、新書部門で第一位のベストセラーです。サブタイトルにもある通り、我が国の人口減少問題をテーマにした本ですが、従来のそれとはスタイルも、訴えも大きく違います。

スタイルで言えば、これからなにが起きるかを未来の年表形式で、2017年今年から2065年までを予想し、明記しているところが斬新です。主だったところを紹介しましょう。

- *2020年 女性の2人に1人が50歳以上に「出産できる女性」が激減 少子化はさらなる少子化を呼ぶ
 - *2024年 3人に1人が65歳以上の「超・高齢化大国」へ 全国民の6人に1人が75歳以上、毎年の死亡者は出生数の2倍。老老介護がのしかかる
 - *2035年「未婚大国」が誕生する 男性の3人に1人、女性は5人に1人が生涯未婚
 - *2040年 自治体の半数が消滅の危機に 青森市・秋田市などの県庁所在地ですら消える可能性がある
 - *2042年 高齢者が4000万人とピークに 就職氷河期世代が古い、独居高齢者が大量に生まれる「日本最大のピンチ」
- 訴えに関しても斬新かつ、シリアス過ぎる内容です。

出席報告 藤田クラブ管理委員

会員総数 21名 (内出席規定適用免除欠席者 4名)
本日の欠席者 4名 (他 1名は事前メイキャップ済)
出席率 76.47%
前々回(8/22) 修正欠席者 3名 出席率 85%

ニコニコボックス報告 藤田クラブ管理委員

皆出席表彰 ◇22年も皆出席とは、ほとんど化石です。藤田君 ◇サッカーワールドカップ出場バンザイ!! 北朝鮮どうなるのでしょうか。西牧君 ◇朝晩、冷え込むようになり、布団が恋しくなりました。風邪など引かぬようにしたいものです。中島君 **その他のコメン** ◇前回例会後、複数の会員から「子どもの貧困の実状がよく分かった」という感想を頂きました。引き続き、研究して参りましょう。宮坂君 ◇卓話の日か。何のお話をしたらよいか。井筒君 ◇本日は、クィーンフレディーマーキュリーの71回目の誕生日だそうです。卓話よろしくお祈りします。井筒さんの後です。宮澤君 ◇井筒さん、宮澤さん、卓話楽しみです。西川君 ◇藤田先生おめでとうございます。22年間ご苦勞様です。柴田君 ◇巨人、中日戦で浅間は朝から賑わっています。野球の力は凄いですね。山崎君 **なんとなく** ◇征矢君

配布資料；「幹事報告」「会報No.7」「Rの友9月号」「ガバナー月信9月号」

～ プログラム ～

《会員卓話》 井筒信一会員



私はバイオリン職人です。近頃、一般の方にバイオリン作りの指導をしています。多いときは20名近く集まります。1年数ヶ月かけて完成します。その様子をお話します。

一番安心していただけるのが女性や青年です。一番心配するのが年配の男性です。何故かと言いますと、作成過程を細かく説明しますが、良く聞いていません。何をしているかと思うと、「先生、先生は刃物の切れがいい・・・」。私の話を聞いていず、そういう事を先に言ってきます。で、説明が終わって「わかりましたか」「はいっ」、で離れて仕事をしていると失敗しているんですね。聞いているようで聞いていないのが年配の男性です。何故かと申しますと、昔の男性は家の事を全部任せられました。これ動かして、この大工仕事やって、これやれ、あれやれと、とにかく男性のやる事がいっぱいあって、そういう事やってきているので、何でも出来ちゃうという頭でいます。バイオリンを作るのを教わりに来ているのにたいして、聞いているのが無視されているんですね。そんな感じがします。

でもねえ、凄いですよ。説明した事に対して意見を言うて来るんです。何故かと言うと、チョットでも経験があると自分の意見を言いたいんですね。

あるご夫婦が来られていますが、楽しそうに会話をしながら仕事をやっています。とても良い仲です。

話は変わりますが、私の息子が19歳の時に「バイオリン作りの道に入る」と言ったので、シカゴ・バイオリン・スクールへ入学させました。物凄く多くの人が学んでいます。制作過程は全部数字で行っていました。何cm、何mm。だから手で叩いてみません。指導者の方は「本来は感覚ですが、それを教えることができません」とおっしゃったので、納得しました。帰国して、私の仕事場に2年いましたが、意見が合わず対立しました。現在は、東京で工房を開いています。いつか私の仕事を理解してくれる日が来ると思っています。

また、材料の木を見て「これいいね、これ頂戴」「これも頂戴」と簡単に言うんですね。勿論あげますが、どんな思いをしてその材料を持っているのかということが、どれほど分かっているのか分かりません。実はそういう会話が出来なくて、寂しいのですが、いずれ親父のやっていることを理解してくれることを信じています。家内は「そんな事を言わず、お父さんの方から積極的に色々説明したらどうですか」と言いますが、受けとめるつもりがない様子で、もう少し待ってみようと思います。

《会員卓話》「私の奉仕すべきこと」宮澤 徹会員

自分は今まで何に奉仕してきたかを3つの時代に分けて振り返ってみました。

*その1；20代 中国語通訳時代

いろんなジャンルの仕事をしました。映画、料理、スポーツ、化学、印刷・出版等々。

映画では日中合作映画「未完の対局」の通訳。先年亡くなられた三國連太郎さん、三田佳子さん。この映画でデビューした慶応大学2年生の紺野美沙子さん。中国側



も名だたる大物俳優。この時は隣のホテルニュージャパンの火事、翌日の羽田逆噴射事故等いろんなことがありました。

ロサンゼルス五輪の前々年、中国の若いバスケットボールのナショナルチームを担当したところ、次の仕事

の関係で1日早く去らねばならぬ私を大男たちが名残惜しんでくれました。このうち2人は五輪出場ができませんでした。また私が上海滞在中は彼らの試合を見に行き再会することができました。

化学は神保町で高校化学の教科書を買って来て、有機化学の章を中国語に訳してみたところ、中国語で勉強した方が分かり易い、ということを知りました。

料理は箱根小涌園と南京のホテルでそれぞれ相手国の料理を披露する、とう企画がありあちらではお刺身を、こちらでは絶品中華を、ということでしたが、日本の厨房の火力が向こうの石炭の火力に及ばないというアクシデントがありました。

清水港で広州と上海の海洋調査船の補修と新造船を担当しました。今にして思えばですが、コンピュータ言語をゼロから向こうのスタッフに教えるなんてこともありました。

もっとも長く関わったのは上海宝山製鉄所の商談開始から技術談判、設計交渉、施工時の開梱検査まで。新日鉄を筆頭に日本の全てのメーカーと9大商社の社長が参加した大セレモニーが開かれ、のちに「大地の子」のTVドラマでそのシーンが再現され懐かしかった話を大阪友人に話したところ、山崎豊子さんからサイン入りの著書が届きました。友人は、山崎さんの甥でした。

*その2；30代 青年会議所時代

日本JIC広報渉外特別委員長 雑誌・新聞の編集長の他、マスコミ対応、会頭記者会見の設営。創立40周年の年だったので記念誌と歴代新聞の縮刷版の発行・販売。世界中をまわりました。翌年、松本JICの理事長として「松本連邦共和国 独立宣言」発行。市長選の年でした。公開討論会もやりました。92票差で当選された有賀さんは今年亡くなりましたが、12年間の在任中に私たちが作ったプランをほぼ全部実現されました。台湾台南の女性だけのJICと交流を始めたのもこの年でその後、後輩たちがずっと引き継いでくれ、今年もまもなく彼女たちが来松します。さらに翌年、日本JIC常任理事、北陸信越協議会会長。5県の若手経営者400名を乗せ、敦賀港からウラジオストクへ。得がたい経験でした。モンゴルへ最初の一步を記したのも私たちでした。

*その3；今 地域の企業活動

まず、業界団体が2つあり、それぞれの県副支部長と県常務理事でてんてこ舞い。それぞれに県大会、地区大会、全国大会があり、そのうちひとつは3年後の全国大会を受けてしまったということで、その準備。それから防衛協会をはじめ防衛関係団体3つだったのが、この度は4つめに強制入会させられ先日は富士総合火力演習へ。気がついたら、知人が陸自のトップの陸上幕僚長になっていた。それとここ15年ほどは茶道裏千家長野県支部顧問に。それと商工会議所議員とロータリー。

落ち着く時間が欲しい毎日です。

点 鐘 20:00

宮坂会長

[写真；西牧]